

[公表] 令和6年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども通所センターふれんど			○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日
	実施期間		対象者数	回答者数	回答率
○保護者評価	1月6日	～ 1月20日	24人		0.0%
○従業者評価	1月6日	～ 1月20日	7人	7人	100.0%

○ 分析結果

事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 利用者に寄り添い、興味や得意な分野を伸ばすほか、集団活動で社会的スキルの習得ができる場所	活動は強制ではなく、本人や家族からの情報から興味あるものを選び、話し合っただけであれば参加してもらい、どうしても無理な時は、別のプログラムなど、その人に合わせた活動を行っている他、出来るだけ集団で活動できるように声掛けをしています	体を動かす事が得意な子と、静かに過ごしたい子が混在しているので、個室等を利用して、すみ分けを行っています
2 安全な療育環境が整えられている場所	玩具を全て利用者の手の届く高さに配置しています	職員は安全第一で療育を行っています
3 地理的に地震や水害等に強く、建物は平屋建てで災害に強い構造になっており、敷地周囲はフェンスで囲い、防犯性も高い場所	非常時の対応として各種マニュアル(事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応)や業務継続計画、服薬指示書、安全計画を策定し、訓練も実施している	施設内での避難訓練は年2回以上実施しており、防災施設での実働訓練も毎年実施し、職員や利用児の対応力の強化に努めています

事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 療育(運動)に関して十分な取り組みができない	雨天時など屋外での活動が制限されると、室内に集中し、活動場所が手狭になるほか、運動用具が不足し、順番待ちの状態が発生してしまう、ストレスを貯めてしまう	個人で行う運動から、チームで行える運動へ変換するための仕掛けを探していきたい
2 保護者同士の交流の場がないと思われる	保護者会がない	保護者のニーズ(交流を必要としているか等を知る)
3 地域との交わりが少ない	利用者は平日のみの利用で、施設での滞在時間も短く、特性上の困難さ等もあり、イベント等を開催しての交流は出来ていない	短時間、少人数でも参加できるイベントが実施できないか探していきたい

[公表] 令和6年度 放課後等デイサービス保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日 令和7年2月28日

事業所名	こども通所センターふれんど
------	---------------

利用児童数 24人 回答数 20人 回答率 83.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20 100%					集団活動スペースの他、落ち着いて過ごせる個室部屋も完備しています
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17 85%	2 10%		1 5%		職員8名体制で運営しています
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20 100%					平屋建て全館バリアフリー化され、文字や絵図で分かり易く案内しています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19 95%			1 5%		全室エアコン、集団活動スペース床暖房・除菌脱臭装置、トイレ洋式完備しています
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18 90%	2 10%				指導員は養成講習受講済み、その他、各種講習会にも参加し、自己研鑽に努めています
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19 95%	1 5%				プログラムでは支援内容や目的等を分かり易く見える化しています
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18 90%	1 5%				定期的にあセスメントを行い、結果を分析・検討して、次の計画に反映・作成しています
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19 95%	1 5%				支援計画はアセスメントや本人及び家族の意向等を各項目に分けて作成したもので、子どもの成長に合わせて変更しています
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20 100%					ケース記録簿で個々の計画を確認・共有し、計画に沿った支援を行っています
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19 95%	1 5%			○長期のお休みの時色々な活動ありがとうございます	季節の行事等を取り入れた体験重視の活動プログラムで行っています
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13 65%	4 20%	3 15%		○特に必要性を感じない	長休み中には、他の放課後等デイサービスとの交流会を行っています
保護者 への説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19 95%	1 5%				面談時に重要事項説明書や契約書等の説明をとおして行っています
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19 95%	1 5%				半年毎の面談時に支援経過と本人及び家族の意向等を含んだ計画を作成し説明しています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15 75%	4 20%		1 5%		トレーニングの専門知識を有した職員不在のため、発達支援センターの研修等を紹介しています
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18 90%	2 10%				連絡帳のほか、電話やメール、送迎時の談話を活用して情報共有しています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19 95%	1 5%				定期的な面談のほか、必要があれば、関係機関を含めた会議も開催しています

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19 95%	1 5%				支援の原点はお話を聞く事にありますが、アセスメント等のツールを活用して、情報共有に努めています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7 35%	8 40%	1 5%	3 15%		施設独自の保護者会は開催していないが、既存の小松市手をつなぐ育成会等の事業を紹介しています。今後、保護者間で設立の機運が高まれば、前向きに検討していきます
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18 90%	1 5%				相談等については、原則即日回答としており、申入れ(苦情含む)については、受付担当者や第三者委員会等について重要事項説明書等で説明しています
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18 90%	1 5%				支援時はカードや写真、タブレット等を使用し可視化を図っており、連絡等は電話の他、メールやラインでも行っている
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15 75%	2 10%		2 10%		会報の発行はないが、活動内容等は、その都度、書面やホームページ等で発信しており、自己評価の結果は書面とホームページで公表しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17 85%	1 5%		1 5%		職員には個人情報の取り扱いについて周知徹底しており、写真等の使用時には、その都度確認しています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16 80%	1 5%		2 10%		各マニュアルを全て策定し、職員に周知しており、訓練は定期的に実施しており、マニュアルの存在や訓練実施について、保護者に情報発信していきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16 80%	1 5%		2 10%		感染症・自然災害のマニュアルを策定し訓練は年2回実施しており、今後、マニュアルの存在や訓練実施について、保護者に情報発信していきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18 90%			1 5%		安全計画を策定し、危険箇所等の点検や訓練等も実施しています
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18 90%			1 5%		緊急連絡先は複数登録されており、順次、連絡・説明しております
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19 95%					今後とも、安心して通っていただけるように努めます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19 95%					子どもの興味を最大限に引き出せるように努めてまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	19 95%					今後とも、満足いただけるように努めてまいります。ご不明な点等ございましたら、遠慮なくお申し付けください

【公表】平成6年度 こども通所センターふれんど放課後等デイサービスにおける自己評価結果

公表日 令和7年2月28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		集団活動スペースの他、落ち着いた過ごせる個室部屋も完備している	成長に伴う活動の活発化により手狭感が生じ始めている
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員8名体制で運営している	送迎時やマンツーマンの対応必要時に不足感が出る
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		平屋建て全館バリアフリー化され、文字や絵図で分かり易く案内している	音に敏感な児童に配慮した音響設備に代わる伝達設備の検討
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		全室エアコン、集団活動スペース床暖房・除菌脱臭装置、トイレ洋式	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		扉で区画された個別の部屋を完備し、出入り自由になっている	利用希望が重なる場合がある
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティング時に報連相を行い、月一回課題改善に向けた会議も行っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年一回のアンケートの他、保護者面談時にも意見収集している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年一回のアンケートの他、必要に応じて所属長面談を実施	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	育成会理事会で評価してもらい、改善している	必要があれば委員会を開催する
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		希望の講習会参加とOJTにより情報共有している		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		プログラムを作成し情報公開している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期にアセスメントを行い、結果を分析後、計画を立案している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員が参加する計画会議で計画案を多方面から協議している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケース記録で個々の計画を確認・共有し、計画に沿った支援を行っている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ケース記録での確認の他、当日の気付きを全職員がメモ帳形式で記録・確認している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援は5領域を網羅し、その他、家族支援等についても第三者から見ても分かり易い具体的な内容で設定している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全職員がワンチームで行っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		積極的な外出活動をととした体験重視の計画を立案している	利用児の特性を考慮した計画
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動中の行動を把握分析し、これに応じた計画を作成支援している	個別支援の面で、更に掘り下げた計画を作成支援していく
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	出勤時間や送迎時間の都合で開始前の打合せは出来ないが、前日夕方方のミーティングで周知確認している	都合で打合せに出席できない職員には連絡帳で共有している
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		夕方ミーティングは必ず行い、振り返りと課題検討を行っている	表の行動より裏の思いに主眼を置いた支援への移行



	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	ケース記録とメモ帳の活用による目的を得た記録作成を行っている	次の計画作成に役立つ情報記載の徹底
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年毎のモニタリングで成果と課題の検証評価を行い次回に活かしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○	創作活動等の支援を集団・個別で行っており、今後もガイドラインに沿った活動を行っている	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	迷っている時は待つことを基本に支援し、困っている時は促しも行う	支援者の都合に合わせた促しにならないように注意する
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者と担当職員が出席している	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	障害福祉、保育、教育機関と連携体制は有るが、保健、医療機関との連携までは発展していない	今後、医療機関等との連携をどのようにして行っていくかを考えていきたい
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○	学校への迎え時に担当教諭と情報共有しており、必要があればメール等でも連絡がある	情報共有への認識については担当教諭により差がある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	就学前の情報は児童発達支援事業所との情報交換等で得ている	今後、保育所や幼稚園、認定こども園とも連携していきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	現況、対象者はいないが、今後対象者が出れば連携していく	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	研修会に参加するほか、アドバイザーの派遣も受けている	今後はアドバイザーからの助言を実行に移していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	他の放課後等デイサービスとの交流はある	児童館へは出かけるが、そこでの交流までには至っていない
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	情報交換の場に活用している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	連絡帳のほか、送迎時の場面を活用して情報共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	発達支援センター等での研修開催案内を情報提供している	ペアレントトレーニングを行える専門知識を持った職員がいない
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	重要事項説明書や契約書の説明をとおして行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	意思確認は半年毎の面談時に保護者は直接、子どもは保護者をとおして行っている	今後は可能な限り、こども同席で聞き取りを行ってきたい
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	面談時に半年間の経過報告と検証、それに基づく新しい計画作成の説明を行い、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	毎回送迎時に近況を聞き取り、相談に応じている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	施設独自の保護者会は開催していないが、既存の小松市手をつなぐ育成会の事業には積極的に協力している	今後、保護者間で会設立の機運が高まれば、前向きに検討していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情受付担当者や第三者委員会等について重要事項説明書で説明している	保護者等からの要望については、原則、即日回答としている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	会報の発行はないが、活動内容等は、その都度、書面やホームページ等で発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	職員には個人情報の取り扱いについて周知徹底している	写真等の使用に際しては、その都度確認している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	カードや写真、スマホやタブレット使用で可視化を図っている	保護者との連絡は電話の他、メールやラインでも行っている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	現状はボランティア団体の慰問のみを受入にとどまっている	今後は、地域の方と交流する機会を設けていきたい

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各マニュアルを全て策定し、職員にも周知されており、訓練も定期的実施している	各マニュアルの存在や訓練の実施について、保護者に情報発信していきたい
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	感染症・自然災害のマニュアルを策定し訓練も年2回実施している	各マニュアル及び訓練実施について、情報発信していきたい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	アセスメント時の他、日々の送迎時に保護者から情報提供を受け確認している	与薬等は保護者からの与薬依頼書等により実施している
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	医師の指示書が必要な重症児はいないが、保護者への聞き取りに基づき、調理実習や外食の際、摂取しないように対応している	今後も、必要に応じて指示書提出を保護者をお願いしていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を策定し、危険箇所等の点検や訓練等も実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全計画の策定や訓練等は実施しているが、情報発信迄には至っていない	計画書及び訓練等の実施について、情報発信していきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	発生時の状況や対応策等について全職員で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	法人全体の研修課の他、担当職員が中心となりOJTを実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	事案発生時には委員会で検討後、家族に説明し同意を得て計画書に反映記載している	事案が改善されるまで経過観察と再検討を継続して行う	